

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org



薔薇
写真提供：櫻井龍太君

会長：村松英昭 副会長：小宮弘一郎
幹事：後藤 功 副幹事：青島 彰

2006-2007年度
RIテーマ

率先しよう

第1690回



ウィリアムB. ボイド

<ソング> 君が代・奉仕の理想
<ソングリーダー> 竹田 勲君

会長報告

村松 英昭君

今日から11月です。紅葉の季節となりました。庭の桜の葉も赤くなり落葉しています。今、日本の教育がおかしくなっています。高校の必修科目未履修問題、中学校における、いじめによる自殺等です。未履修問題に関しては、学校の方針が間違っているとしか思えません。高校教育とは何をやるべきかを今一度、原点にかえり考えていただきたいと思います。いじめ問題に関しては、教育の資質の問題、そして隠蔽を教師、校長、教育委員会が主導して行っている点にあります。

大人、子供を含め、日本国民すべてに規範意識の欠落が考えられます。倫理、道徳教育が必要と思います。今国会で議論されている教育基本法の改正に期待したいと思います。

また、文部科学省が決めた通達を教育委員会がうけつけない体質を変えていかないと日本の教育はよくなるのではないのでしょうか。

先日の28日の土曜日に、私と後藤幹事と望月インターアクト委員長の3人で、藤枝順心高校の文化祭「しらうめ祭」に行ってきました。そのとき頂いたパンフレットに多賀須校長の「しらうめ祭によせて」の文がありましたので紹介させていただきます。藤枝学園は、大正元年に創立者仲田順光によって、女性の「自律自主」を願いとして開校されました。初代理事長仲田恵法と共に、女性の徳性を育て今日に至りました。

「しらうめ」の由来は「白梅の寒苦を経て芳香を発す」に基づくものであり、その精神は本校の

根幹となっております。と書かれていました。

私達は、5階のインターアクトクラブの展示室に行きました。部屋には、インターアクトクラブの旗が掲げられ、昨年の海外研修の様子が写真で展示してありました。他にユニセフに寄付するためにバングラディッシュの民芸品の販売をしていました。また、点字カレンダーや絵本の展示も行っていました。今年は、学校行事の都合でインターアクト年次大会、海外研修に参加する事ができなかったためか、話題性に欠けたように思いました。部員達は、訪れたお客さんに対しきびきびと対応し、はつらつと活動していました。帰りに、私達は、バザーの品物を買ったり、募金箱に募金したりしてきました。

会員の皆様、来年のしらうめ祭には是非出かけてあげてください。そして、インターアクトクラブの子供達との連携を強めましょう。

幹事報告

後藤 功君

- 会員の鈴木廣利君が文化の日に産業開発振興功労として知事表彰が決まりました。
- 沼津北RCより「45年のあゆみ」として記念誌がとどいております。
- 11月号の「ロータリアン」英語版が届いております。
- 地区よりロータリーレートが11月より1ドル118円に変更になる旨連絡がございました。
- 藤枝子供と本をつなぐ会より、活動支援のお礼が届いております。

- 藤枝市民ゴルフ大会実行委員会より10月9日に開催されました藤枝市民ゴルフ大会協賛のお礼が届いております。

出席報告

杉浦 良一君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
24 / 41 58.54%	41 / 41 100%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

岩田君 栗原君 成瀬君 水野君
北村君 村松宏君 青島彰君 宮川君
浅川君 飯塚君 板倉君 小西君 桜井富君
鈴木晶君 鈴木舜君 仲田晃君 望月志君

(2)メイクアップ者

栗原 毅君(島田) 水野 義猛君(静岡中央)

ビジター

澤脇 圭司君(島田)

スマイルBOX

杉浦 良一君

- 誕生祝ありがとう!!まだ78才です。
櫻井 龍太君
- 健康で62才の誕生を迎える事にただ感謝です。
後藤 功君
- 会員・夫人誕生日、70才代の最後の誕生日を迎えました。おかげ様で健康で毎日送っています。
日々感謝です。 山田 昭雄君
- 11月26日は女房の誕生日です。村松 英昭君
- 結婚祝ありがとうございました。これからもがんばります。 池ノ谷 敏正君
- 妻の誕生日と結婚記念日は、年始め一番先に手帳に記入します。今年も有難うございます。
石垣 善康君
- ゴルフ同好会の一泊コンペで天城高原に行ってきた。参加者は8名と少なかったのですが、前夜祭から盛り上がり大いに楽しむことが出来ました。運か実力かわかりませんが素晴らしい中伊豆グリーンクラブで霧の中ベスグロ優勝をさせて頂きました。 青島 克郎君

スマイル累計額 460,268円

委員会報告

『“ロータリーの友”11月号の紹介』

広報・雑誌委員長 櫻井 龍太君

11月は「ロータリー財団月間」である為に、RI会長のメッセージは勿論、財団に関する記事が、豊富に掲載されて居ますから、より一層財団を理解する為に、お目どうしてください。

- P6 ~ 財団ABC
- P19 ~ 活動報告・事業報告
- P22 最新資料
- P ~ 緒方貞子氏の講演(要旨)

知事表彰

鈴木 廣利君

産業開発振興功労賞

11月3日に県知事より表彰されます。



外部卓話

卓話者ご紹介

ロータリー財団委員長 柳原寿男君

鈴木美香先生は2003-04年度財団奨学生です。浜松医大大学院を修了されて、平成15年カリフォルニア大学サンディエゴ校癌センターに留学されました。

現在は浜松市聖隷健康診断センターに勤められております。沢山の受賞歴がありますが、その一つに平成13年、日本癌治療学会より優秀演題賞があります。

2003~04年度
ロータリー財団奨学生
鈴木 美香様



浜松ロータリークラブのご推薦により、2003-2004年度国際親善奨学生として、米国カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部癌センターに留学させていただく機会を得、3年間の研究

生活ののち、今年3月末に帰国致しました。

米国では、Torrey Pines La Jolla R.C.(会員数30数名)がホストクラブとして私を温かく迎えてくださり、様々な経験をさせていただくことができました。特にロータリアンのご招待により、DNA二重らせん構造を発見された故クリック博士と同じテーブルで食事をさせていただいたことは、大変貴重な思い出として残っております。

研究面では、「ヒト癌細胞の移転にかかわる遺伝子発現の解析」という大きなテーマのものと、乳癌細胞を用いたの実験を行い、論文5本程度の成果を上げることができました。日米間では、研究レベル、研究設備、試薬の入手の早さなどはほとんど差がないと思われませんが、米国の研究者の、自分の行った実験に対する自信はかなり強く、世界中の研究者と競い合っていくためには、自己主張の強さが非常に重要である、と学ぶことができました。

この3年間の滞米生活を通して、日本という国の素晴らしさを再認識するとともに、旅行などの短期滞在では知りえなかったアメリカ社会というものを内側からよく観察することができました。研究成果そのものよりも、良い意味でも、悪い意味でも、様々な経験をしたこと、そして、世界中から集まった人々の様々な価値観、物の考え方、見方を知りえたことが今回の留学の何よりもの収穫であったように思います。このような貴重な留学の機会をあたえてくださいました国際ロータリー2520地区ロータリークラブの皆様にご心より感謝申し上げます。

(担当/増田)